

学校教育目標：旭を愛し、やさしく・かしこく・たくましく生きる児童の育成
～ みんなにとって、気持ち（居心地）のよい学校、笑顔あふれる学校にしよう！～



チームワーク
フットワーク
ネットワーク

旭っ子

旭小学校だより

令和5年7月6日 第4号

文責 校長 木村 嘉身

TEL 0942-83-2806

<https://www.education.saga.jp/hp/asahi-tosu-e/>

吉野ヶ里歴史公園見学【6年】

5月25日（木）、6年生の子ども達は、社会科の学習で、吉野ヶ里歴史公園へ見学に行きました。現地へは、往復とも電車を利用し、行きは、肥前旭駅⇒鳥栖駅（乗り換え）⇒吉野ヶ里公園駅、帰りは、吉野ヶ里公園駅⇒新鳥栖駅の経路で移動しました。駅のホームや電車内では、ルールやマナーをしっかりと守ることができました。

吉野ヶ里歴史公園では、グループごとに分かれて行動（フィールドワーク）し、事前に立てていた計画に沿って、「物見やぐら」や「竪穴住居」、「主祭殿」、「高床倉庫」、「北墳丘墓」、「環濠」などを見学しました。子ども達は、既に社会科で、弥生時代について学んでいましたので、実際に復元された遺跡や発掘された出土品を見ることにより、学びがさらに深まったことと思います。

吉野ヶ里歴史公園の見学で学んだことは、社会科の時間に、一人一人、新聞の形式でまとめ、振り返ることができました。



フィールドワークの様子



勾玉（まがたま）づくり



展示物（土器等）の見学

租税教室【6年】

5月29日（月）、6年生の子ども達を対象に、税の仕組みや税金の使われ方などを知ってもらう「租税教室」がありました。鳥栖税務署の方にお越しいただき、まず、「私たちの生活と税」というタイトルで、スライドを活用しながら税について分かりやすく話していただきました。次に、税がどのようなところに使われているか、ビンゴゲーム形式で確認することができました。そして、最後に、アニメ「マリンとヤマト不思議な日曜日（税金がない世界は?）」を観た後、税について、子ども達と意見の交流をしていただきました。



税について学ぶ子ども達

車いす体験【4年】

6月1日（木）、鳥栖市社会福祉協議会、鳥栖西地区地域包括支援センター、しょうがい生活支援の会すみかの皆様のご協力により、4年生の子ども達を対象に、車いす体験が行われました。

まずは、「すみか」の芹田洋志さんに、スライドを活用しながら、介助者の視線やバリアフリーとユニバーサルデザインの違いなどについて話していただきました。さらに、バリアフリーには、「ハード」面（設備）と「ソフト」面（情報や制度）、「ハート」面（心理的なもの：差別をしない、思いやり等）の3つがあり、子ども達にできることとしては、「ハート」面であることを伝えていただきました。その後、「電動車いすがどうしてできたのですか?」、「自動販売機など、手が届かないときどうするのですか?」など、子ども達の質問に、分かりやすく丁寧に応えていただきました。

車いす体験では、車いすに乗った状態で、自動販売機の利用体験やトイレの利用の仕方、段差がある場所での介助の方法など、全員体験させていただきました。子ども達は、体験を通して、車いすを利用する人の気持ちや介助をする人の気持ちを、少しではありますが理解できたのではないかと思います。



芹田さんの話を記録する様子



トイレ利用の体験



自動販売機利用の体験



段差箇所での介助の体験

屋内運動場（体育館）大規模改造工事

以前、ご連絡しておりました通り、屋内運動場（体育館）は、大規模改造工事のため、令和6年1月22日（月）まで利用できません。よって、現在、体育の授業は、運動場とプールを活用して実施しています。また、登下校の際に利用している校舎南西付近の南門は、工事車両の出入りのため、工事期間中利用できなくなります。よって、工事車両が出入りする前に、校舎の南側付近に、仮設の出入口を設置してもらう予定です。登下校は、その出入口を利用することになります。子ども達には、学校で詳しく説明いたします。